

三一〇七番

うつせみの 人目を繁み 逢はずして 年の経ぬ
れば 生けりともなし

三一〇八番

うつせみの 人目繁くは ぬばたまの 夜の夢に
を 継ぎて見えこそ

三一〇九番

ねもころに 思ふ我妹を 人言の 繁きによりて
淀むころかも

三一一〇番

人言の 繁くしあらば 君も我も 絶えむと言ひ
て 逢ひしものかも